

2024年度 第23回英語スピーチコンテスト

英語スピーチコンテスト実行委員会

開催 日：2024年11月30日（土）

開催方法：対面を実施

エントリー方法：10月14日～10月18日にアプストラクトを提出し、複数の担当教員の匿名原稿審査によって出場者を決定する。10月23日～11月1日に原稿とスライドを提出する。

本選出場：12名

運営：主催 外国語学部英語英文学科
共催 人文学会

概要

2024年11月30日（土）13：00～16：30に、英語英文学科主催 第23回 English Speech Contestがみんとみらいキャンパス（米田吉盛記念ホール）で開催されました。12名の出場者がレベルの高い英語能力を披露し、メンタルヘルス問題やMBTIを利用したコミュニケーションなど様々なテーマでスピーチを行いました。出場者ご発表タイトルおよび審査結果は下記の通りです。運営にあたり、今年も英語英文学科の学生20名が

ボランティアスタッフとして協力してくださいました。学生主導で行われた今回のスピーチコンテストは非常に素晴らしいコンテストとなりました。また、ハンガリーや英国への留学や英語英文学科独自の短期海外文化研修プログラムのSEA2についてなど、留学体験談の発表もありました。コンテスト開催後、みんとみらいキャンパスの21階Lighthouseで表彰の集いが開催されました。

コンテストの出場者リスト

1. 谷岡 胡香
“The Real Power of the MBTI: Relationship Building”（1位&Most Academic Speech賞）
2. 安達 友俐
“We Are Still Learning”
（2位&Most Charismatic Speech賞）
3. 武藤 麗
“The Way to Success”
（3位）
4. エヴァンス・プレストン 町野
“Power of Perspective”
（Most Inspirational Speech賞 & Merit賞）
5. 菊池 希美
“Experience American History Through Hidden Messages at Tokyo Disney Sea”
（Merit賞）
6. 金子 琴美
“Jump Before You Look”
（Merit賞）
7. 富 舞悦
“Break High Sensitive”
（Honorable Mention）
8. 小串 慧
“Difference Between Cute Animals”
（Honorable Mention）
9. 笠貫 統也
“Free Time is Always Not Free”
（Honorable Mention）
10. 福田 みなみ
“Mastering Anxiety in Modern Life”
（Honorable Mention）
11. 福本 航大
“If Time Travel Were Possible”
（Honorable Mention）

12. 新美新

“Be an Oraku to Enjoy Your Life”

(Honorable Mention)

留学体験談

中村実優

(ハンガリー・エトヴェシュ・ローランド大学)

新井智香

(イギリス・ヨーク・セント・ジョン大学)

阿部凜・海野葉奈・辻本繪音

(SEA2)

学生スタッフ

中島波南

(総監督)

日比琴音

(副監督)

遠藤亜優美・中野旬華

(総合司会MC)

新木日菜音・富永花・辻本繪音

(スライド係)

リオクーガー・メイニング・緒方野乃花・楊文琪

(プログラム係)

志磨琉音・松本優凜・小野澤はるか

(受付・誘導)

佐藤世奈・中家光月

渡邊花音・伊藤鈴奈・高田俊太郎

(音響・照明係)

谷本夏純・五味咲彩

(撮影係)

2024年度英語スピーチコンテスト

学生スタッフと出場者の率直な感想

1. 総監督

外国語学部 英語英文学科3年 中島波南

私は一年生の時にスピーカーとして挑戦し、昨年度には司会を務めた経験があります。今年度は友人の誘いがきっかけで「私を必要としてくれるならば、これまでの経験を活かせるならば」と、集大成として総監督という重要な役目を務めさせていただきました。活動にあたってボランティアとして参加してくださる全ての学生スタッフに将来役立つ経験や成長の機会を増やしたいという想いがありました。そこで副監督と相談し「全てを学生に任せてほしい」と先生方にお願ひし、今年度は学生主体で取り組ませていただきました。先生方や学科の職員の皆さんにサポートしていただきながら総監督としての役目を果たすことができたと思います。自分たちの力を、仲間たちの力を信じて良かったです。自分たちと同時に、私たちを信じて任せてくださった先生方にとっても感謝しています。私自身、この一ヶ月で多くのことを学び、大きく成長できたと思っています。来年度以降も出場者・運営陣ともに学生が自分の力を試し、伸ばしていける機会になることを願っています。

2. 総合司会MC代表

外国語学部 英語英文学科2年 遠藤亜優美

今年度のスピーチコンテストでは、初めての運営側、そして、初めての司会を1年生の後輩と一緒に担当させていただきました。本番までの準備期間中でやるべきことは、プログラム進行の内容の把握、その中の動きの確認、司会用原稿の修正などでした。私自身、ペアの1年生の子と同じように、コンテストでの司会は初めての試みだったため、英語での原稿作りと修正、そして何より、プログラム進行での度重なる変更点との戦いにも何度か挫折しかけることが多くありました。しかしそれでも、一つ一つの課題を乗り越え、本番ではお互いに冷静さを持って臨むことができました。このようになれたのは、ディレクターさんをはじめとした、同じ運営側の先輩方・先生方の支えが非常に大きかったからだと思っています。このような、スピーチコンテストの運営側、主に司会としての経験は、臨機応変に対応する力、現状に満足し過ぎずに修正し続ける意識、そして、仲間と一緒にカバーし合う大切さを改めて学べる貴重な時間であったと強く感じています。来年度も運営側に携わることになった時に限らず、別の様々な状況にでも、この経験で培ってきたことを応用していきたいと思っています。

3. 受付・誘導係代表

外国語学部 英語英文学科3年 志磨琉音

チームの皆さんと連携して、学生と先生方、保

護者、友人の皆様など1人ひとりスムーズに区別し、誘導することができました。コンテスト全体を通して温かい空間で、仕事がいりやすかったです。貴重な経験ができました、ありがとうございます。

4. プログラム係代表

外国語学部 英語英文学科3年 緒方野乃花

今回、スタッフとしてプログラム作成とタイムキーパーを担当させていただきました。今年は紙ではなく、オンライン形式のプログラムでの実施ということで、どうしたらより見やすくなるかを考え、デザインや配色、文字の大きさなど細部にもこだわりながら作成しました。ディレクターと相談を重ねながら、見やすいプログラムが作成できたのではないかと思います。また、タイムキーピングでは、発表者の方の見やすい位置にタイムマーを置き、正確に時間を測ることに努めました。目立たない仕事ではありますが、発表者の方のパフォーマンスや評価を直接左右する重要な役割であることを認識し、責任を持って取り組みました。このスタッフとしての活動を通して、裏方として支えることの重要性やチームで協力しながら一つのイベントを作り上げる達成感と楽しさを学びました。

5. 撮影係代表

外国語学部 英語英文学科3年 五味咲彩

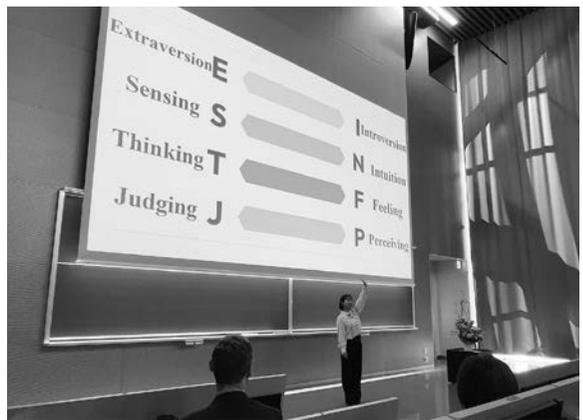
今回初めてスタッフとしてスピーチコンテストに参加しました。不安な点もありましたがチーム

メンバーと協力してなんとか終えることができました。写真撮影やショートムービーを通して出場者やスタッフの方々の様子を記録し残すことができ良かったです。写真を通して良い思い出として振り返ってもらえたら嬉しいです。また、今まで関わりのなかった人と新たな交流ができて楽しく活動できました。様々な面で、参加して良かったと思える経験になりました。

6. 1位入賞・Most Academic Speech賞

外国語学部 英語英文学科3年 谷岡胡香

今回初めて大学のスピーチコンテストに参加させていただきました。内容にこだわろうとスクリプトを完成させるまでに予定よりも長い期間を費やしてしまっただけで、暗記して、自分のものにする時間が短くなってしまったことに不安と焦りを感じていましたが、残りの1週間で毎日ひたすら練習をして、様々な方のサポートをいただきながらなんとか本番に間に合わせることができました。ステージでの目標が、「私が先生になったつもりで、judgeを含め全ての方にMBTIの真の力を知ってもらう」だったので、このスピーチを通して少しでも多くの方が自分と人間関係を見直す機会になっていただけたら嬉しいです。素敵な賞を2つもいただき、素晴らしい興味深い他の方々のスピーチも聞くことができたので、参加して本当によかったなと思います。



スピーチ発表する谷岡胡香さん

7. 2位入賞・Most Charismatic Speech賞

外国語学部 英語英文学科2年 安達友侑

伝えたいメッセージがある方、経験から得たエピソードがある方は是非この貴重な場を活用してみることをお勧めします。私自身も少し特殊な海外経験をしたことなきっかけに得た「学び続ける」ということの重要性を、今回発表しようと思った。その結果、成績以上に得られたものが多かった。その結果、成績以上に得られたものが多かった。その結果、成績以上に得られたものが多かった。その結果、成績以上に得られたものが多かった。自分自身で「学び」という一つの題材についてじっくりと考えを深めることが出来たこの機会にも感謝です。ありがとうございます。

8. 3位入賞

外国語学部 英語英文学科2年 武藤麗

去年、スタッフとして参加したことをきっかけに、今年はスピーカーに立候補しました。最初は「オーディエンスに何かメッセージを伝えたい」という漠然とした考えが頭にあり、自分の実体験を抜粋してスピーチに仕上げる過程が私にとって一番の難題でした。そんな私を親身になって支えてくれたのが、コーチの先生でした。原稿の推敲から始まり、練習を重ねていく全ての工程で、コーチからたくさんのご指導を学び、吸収しました。当日、緊張しつつ迎えた本番のスピーチはとても楽しく、挑戦してよかったと感じました。審査員



スピーチ発表する安達友侑さん

の方々からのフィードバックでは、スピーチに対するポテンシャルが抜群だったと褒めていただき、新たな自信を得ると同時に、今回の結果に少し悔しさも感じました。全体を通して、新しい学びと経験にあふれた有意義な時間でした。関わってくださった方々にとっても感謝しています。



スピーチ発表する武藤麗さん

9. Most Inspirational Speech賞

外国語学部 英語英文学科1年

エヴァンス・プレストン 町野

初めてのスピーチコンテストだったので、経験がない中で挑戦することに不安もありましたが、自分の思いをしっかりと伝えることを目標に頑張りました。このコンテストを通じて、人前で話すこ

と、特に、大勢の人の前でスピーチをすることが意外にも楽しかったといえます。自分の伝えたいメッセージを、どのようにして誰が聞いていても、分かりやすく論理的で心を打たれるようにするため、コーチと練習と相談を重ねました。結果として、「Most Inspirational Speech Award」を受賞することができました。まさか初めてのスピーチコンテストで受賞するとは思っていなかったのですが、すごく喜びました。コーチをはじめ、相談に乗ってくれた先生方、練習のために付き合ってくれた友人たちへの感謝の気持ちでいっぱいです。そして、スピーチコンテストを運営されたスタッフ、参加者の生徒の皆さんからは、今までにない刺激をもらったことを心から感謝します。



スピーチ発表するエヴァンス・プレストン町野さん



イギリス留学報告する
新井智香さん



ハンガリー留学報告する
中村実優さん



イギリス文化研修（SEA 2）報告する阿部凛さん・海野栞奈さん・辻本絵音さん



11月30日（土）米田吉盛記念ホールにて記念撮影